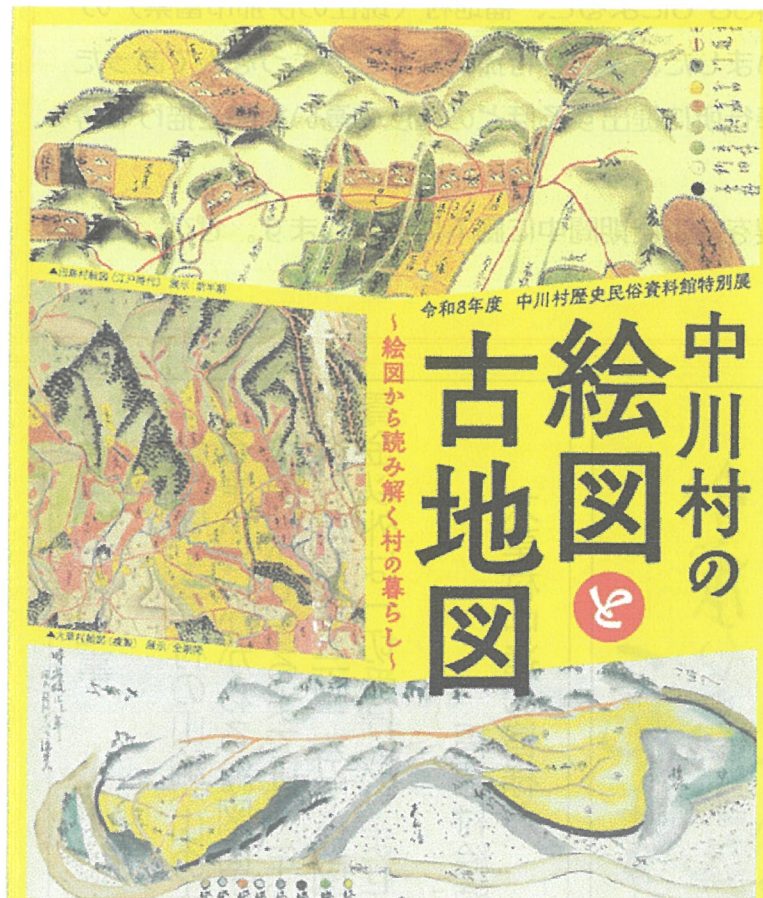




令和8年度特別展「中川村の絵図と古地図」特集



中川村には大切に受け継がれてきた江戸時代の絵図や明治時代の古地図がたくさんあります。今回の特別展では資料館所蔵のものや、最近寄贈されたものなどの中から当時の暮らしの様子がわかるものを紹介しています。

絵図や古地図には地域の景観や、争論と和解、災害とその対策などその時代の様子が描かれています。特に代官や領主に提出した村絵図には現在では廃絶した寺社、失われた小字名、当時の人々が住んでいた場所や現在も使われている道などが描かれ、江戸時代の村の姿を知る貴重な資料となっています。

絵図や古地図から当時の人々の暮らしを読み解いてみましょう

講演会「絵図と地形から探る中川村の災害履歴」

講師：戸田堅一郎氏(株式会社ジオ・フォレスト代表取締役) 日時：11月14日(土)13:30～15:00

会場：中川文化センター視聴覚室 定員60人(事前申し込み制) 参加費無料

江戸時代の絵図に最新の微地形表御現図を重ねると、村の災害履歴が見えてきます。江戸時代と現代をマッチングするという非常に興味深いお話です。ぜひスマートフォンを持ってご参加ください。

申込みはコチラ→

令和8年度中川村歴史民俗資料館特別展
「中川村の絵図と古地図 ～絵図から読み解く村の暮らし～」

会期：10月3日(土)～12月26日(土)

開館日 火・木・土曜日

開館時間 9:00～16:30(最終入館16:00)

入館料 大人200円 学生100円 (上伊那郡内在住の小・中・高校生は無料)

中川村文化祭期間中の11月6日(金)と8日(日)は特別開館します。

*11月7日(土)のみ入館無料となります

お待ちしております

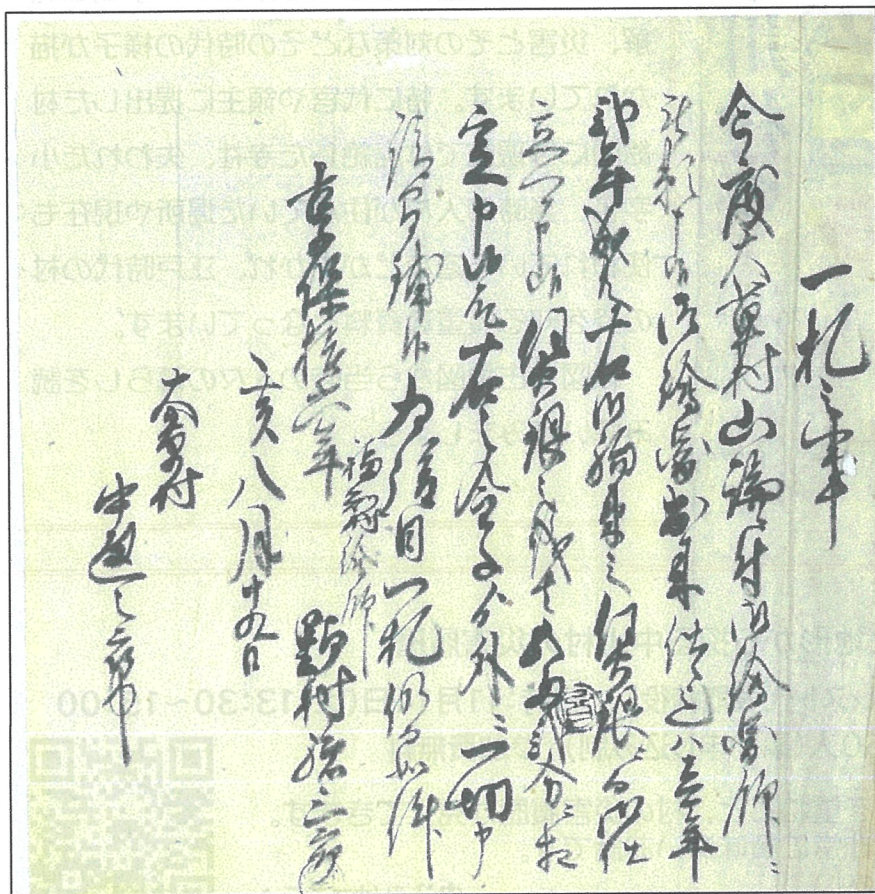


絵図を描いた絵師の名前を発見！

「相模垣外」の資料の中に絵図の作成について記された興味深い文書が残されています。絵図には描いた人の名前を入れないことが多いため、誰が描いたものか不明なものがほとんどです。

この文書は享保16年（1731）に大草村の中通四耕地（北組・中組・下平・沖田）が町と山の境界をめぐる争いが起きた時のもので、境界争いは江戸の御奉行所にまで訴え出るほどの大事となり奉行所から絵図の作成が命じられました。資料38-6によると、福地村（現在の伊那市富県）の絵師野村孫三郎が賃金5両2分で作成を請け負いました、この野村孫三郎がどのような人であったのか不明な点がありますが、測量の技術を持ち奉行所に提出するほどの精度の高い絵図を描ける専門の絵師であったと思われます。

この時に孫三郎が描いたと思われる絵図の複製を特別展期間中に廊下に展示します。ぜひ、見に来てください。



資料No.B10-6-38-6

一札之事

この度、大草村の山論（山の土地利用の境界をめぐる争い）にかかわる絵図面の作成師となりました。絵図ができるまでは一年、二年になろうとも約束した賃金五両二分で絵図を作成します。この賃金以外は一切受け取りません。

大草村中通の皆様へ
福地村絵師 野村孫三郎

意識

◆お知らせ

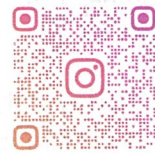
特別展開催に向けて現在準備中です。大切に受け継がれてきた絵図が劣化しないよう照明を暗くし、会期の前半と後半で絵図の入れ替えをおこないます（前半期10月3日～11月14日 後半期11月17日～12月26日）。ほとんどの資料を入れ替えますので前半と後半に来ていただくことをおすすめ致します。

特別展などに関するお問い合わせは…

中川村教育委員会 TEL：0265-88-1005

中川村歴史民俗資料館 TEL：0265-88-3452 まで。

歴民館の様子をときどきUpしています→



NAKAGAWA_REKIMINKAN